

令和元年度 学術・調査委員会活動報告

委員長：木下 義晶、副委員長：足立 壮一

委員：米倉 竹夫、家原 知子、今井 耕輔、川井 章、師田 信人、大喜多 肇、
 笹原 洋二、古賀 友紀、安井 昌博

オブザーバー：菊田 敦（福島問題担当）、田尻 達郎（疾患委員会固形腫瘍担当）

本委員会は小児血液疾患及び小児がん領域の疾患登録に関わる実務、および、疾患委員会と連携して調査研究の推進を執り行うことを目的に活動する。

活動内容

1) 「20歳未満に発症する血液疾患と小児がんに関する疫学研究」をJCCG固形腫瘍観察研究とも連携する（2020年5月～）新規登録システムとして構築し、2018年症例からの症例登録が始まった。

2017年症例：2018年の日本血液学会、日本小児血液・がん学会でポスター報告
 HPでの公開

2018年症例：固形腫瘍は新登録システム開始
 2019年の日本血液学会、日本小児血液・がん学会でポスター報告
 HPでの公開

2019年症例：2020年5月31日締め切り→2020年6月20日締め切り
 →今回は社会情勢を考慮し、登録締め切りを延期した

2) COVID-19に関するガイダンス、関連論文の調査、HPでの情報提供

各学会、研究組織（COG, SIOP, St Jude HP, ASH etc）より出ているガイダンス、statementの翻訳、関連論文の要約を行い、一般向け、医療者向けに分けてHPで公開。随時更新している。また関連HPリンクについてアドレスも掲載している。

2020年4月13日 第1弾公開

2020年4月27日 第2弾公開

2020年5月21日 第3弾公開

継続更新予定

3) 日本小児科学会 小児慢性疾病委員会

COVID-19と担当疾病との関連性に関する情報提供依頼

4) 関連研究班との事業

①厚労科研令和元年度厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業「小児・AYA 世代がん患者のサバイバーシップ向上を志向した妊孕性温存に関する心理支援体制の均てん化」（鈴木班）でアンケート調査を行い現在解析中。第 62 回学術集会で発表予定。

②厚生労働科学研究班「全国がん登録の利活用に向けた学会研究体制の整備とその試行、臨床データベースに基づく臨床研究の推進、及び国民への研究情報提供の在り方に関する研究班（平田班）へ小児がんに関連する学会として出席し、情報交換。

令和 2 年度の活動計画

1) 新登録事業の今年度の状況の確認、解析

COVID-19 に伴う、登録期間、解析時期、発表形式の調整

登録率を上げるための方策、システムに関する問題点の検討など

登録内容の解析項目

2) 2019 年症例の学術集会報告、学会誌報告、およびホームページ掲載

3) 関連班研究との連携

以上